

月刊 やちまなこ

2021. 2.15 発行

No.279

2月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

湖畔の林から野鳥のさえずりが聞こえ、しばらくするとアカゲラのドラミングが周辺に響いた。その林は樹氷に彩られ、今朝の厳しい寒さを現しているようだ。2月に入り、陽射しは徐々に力強さを増し始め、湿原の生き物たちに活力を与えている感じがする。立春を過ぎても氷点下20度を記録する日もあり、寒暖の差も大きい。光の春と言われる2月だが、北国の本格的な春の訪れには、しばらく時間がかかりそうだ。



塘路フィールドノート【1 / 15～2 / 14】

【野鳥】

まだまだ厳しい寒さが続く塘路湖畔ですが、カラ類のさえずりが聞こえ始めるなど、少しずつ春の兆しを感じられるようになってきました。春の兆しと言えば渡り鳥たちの飛来。もうじき、春の使者ヒシクイがやってきます。



タンチョウ（茅沼駅前）

仲良く羽繕いをしていた親子（右が子供）。もうじき子別れの時期がやってきます



オオハクチョウ（シラルトロ湖）

凍結した湖上で羽を休めていた2羽。真っ白な体が雪景色の中に溶け込んでいました



（シマ）エナガ（塘路湖畔）

雪の妖精には雪景色がよく似合います。ただ、今冬は例年より見かける機会が少なめ



オオアカゲラ（塘路湖畔）

例年冬によく見かけるキツツキですが、今年は少なめ。これが今冬の初確認でした



コゲラ（塘路湖畔）

ギーという声とともに近くの枝に飛来。ここ最近、センター周辺でよく見かけます

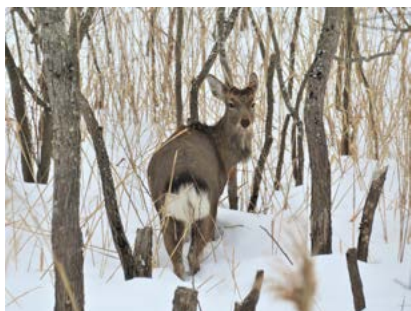


マヒワ（塘路湖畔）

ハンノキで食事のみ（上）と♀。20羽ほどの群れでハンノキ林に集まっていました

【動物】

冬は湖畔に生息する様々な動物たちの存在を強く感じる季節。たびたび姿を見かけるエゾシカのほか、普段ほとんど姿を見かけることのないウサギやネズミたちの存在も、雪の上に残された足跡から感じることができます。



エゾシカ（塘路湖畔）

湖畔で見かけた妙に貫禄のある若オス。よくみると、片方の角が折れているようです



エゾリス（塘路湖畔）

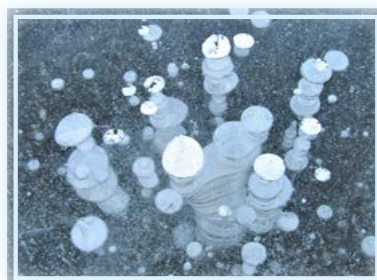
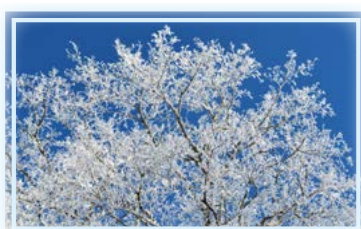
雪の上を颯爽と駆けていくところ。凍える寒さの中、元気一杯に走り回っていました



エゾユキウサギ（塘路湖畔）

湖畔で見つけた足跡。姿を見かけることはないものの、足跡は昨冬より多く見られます

◎塘路湖畔で見つけた氷の造形 2020-21 冬



◎白銀の湿原を散策しました

6日、自然ふれあい行事「釧路湿原フィールドウォッチング」を茅沼蝶の森周辺で開催しました。はじめにコースの紹介をしたあと、シラルトロ湖からスノーシューで散策をしました。しばらく足慣らしをしながら、湖畔沿いの湧水や冬越しの植物の様子などを観察しました。雪上にはエゾシカのほか、キタキツネやタンチョウ、エゾユキウサギの足跡など、白銀に輝く湖面に様々な動物が活動している様子を解説しました。

蝶の森では炭窯跡や縄文時代の竪穴住居跡などを観察しながら、釧路湿原と当時の先人たちの生活との関わりについて解説しました。行事終盤を知らせるように？SL冬の湿原号の汽笛が聞こえ、出発地点に戻る途中で10名の参加者の皆さんとともに、煙と蒸気を吐いて力走する雄姿を見送って行事を終えました。



◎紙粘土でかわいいフィギュアを作りました

2月13日(土)、釧路湿原に住む野鳥を模った紙粘土フィギュアを作るイベントを開催しました。イベントの開催に当たっては標茶町博物館にご協力をいただき、会場として博物館の一室をお貸しいただいたほか、講師も博物館の高橋学芸員に務めていただきました。この日のテーマはフクロウ・シマエナガ・ウソの3種。まず高橋学芸員による実演を見ながら、それぞれの種の形作りを行い、その後ドライヤーで乾かした後、絵の具で色付けしてフィギュアを完成させました。

リアリティーにこだわった作品を作り上げたり、上記3種のほか、オオワシや昆虫などのフィギュアにも挑戦したりなど、参加者された方々はそれぞれに楽しみながら、オリジナリティーあふれるフィギュアを作り上げていました。

参加者5名



1月16日(土)に開催予定だった

「連凧を作って揚げよう」は悪天候のため中止となりました。

3月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

塘路フィールドウォッチング ～晩冬編～

[日 時] 3月6日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

湿原の裏山でスノーシューハイク

[日 時] 3月7日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで
(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 1/15(6:50,16:13). 1/31(6:38,16:34). 2/14(6:21,16:52)

～編集後記～

■今年も週末を中心にSL冬の湿原号が運行していますが、コロナウイルス感染拡大防止のため、海外から訪れる観光客の姿は列車の中にはありませんでした。来年こそコロナ禍も収束して、従来通り各地域のイベントに数多くの観光客で賑わう姿を思い浮かべながら、通過する列車を見送りました。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

インスタグラム  torokoemc

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料